

議会運営を研究

全議員が研修会

4月20日、県町村議会議長会の米田武美事務局長を講師に、「地方議会制度と議会運営について」と題し、研修会を行いました。

その内容は、地方自治法の改正について、「地方の自主性・自立性の拡大を図るための措置」「議会制度の見直し」「中核市制度の見直し」などです。

また、議会運営については、「長い間同じような運営を行っている」と時にはずれたり、誤解が生じる可能性があるとの、折に触れ、確認する必要がある」と講義いただきました。



議会運営を語る米田講師

その他、他町村議会の事例などを交え、議会運営について分かりやすくお話いただきました。

更に、議員年金制度の改正についても説明を受けました。議員数の減と受給者の増加、また高齢化による受給年数の長期化などにより、現制度が成り立たなくなることから、掛金は12.5%増、受給額は約10%の減額になります。

林業公社造林地

現地を直接確認

5月29日と30日、議会と森林組合が合同で、町内の県林業公社造林地を視察しました。

森林整備課の山川官事業担当課長の案内のもと、江刈方面、田部方面、小屋瀬方面の造林地10カ所を視察し、生育状況や間伐などの整備状況を確認しました。

公社造林は、昭和39年度から行われており、平成16年度までに就労人数延べ64万人、労務賃約35億円が支払われてきた大規模な事業です。

しかし、近年の木材市場の低迷から、県では公社造林の県有林化を図っており、市町村に対しても債



森林組合と合同で現場確認

権の放棄を求めるなど、町の重要課題となっています。

町内の造林地には、まだまだ手入れの必要な箇所も多くありました。議会は、今後も調査を続け、国や県に森林整備の推進を働きかけていきます。

次の定例会は
九月中旬です。
皆さんの傍聴を
お待ちしております。

情報公開

議長が議会の対外的活動をするために要する経費を議長交際費といいます。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

4月	65,000円(葛巻幼稚園入園式 ほか)
5月	42,000円(商工会総会 ほか)
6月	66,000円(久慈市合併記念式典 ほか)

編集後記

から梅雨かと思いきや、一転まとまった雨が降り、気温もなかなか上がらず、梅雨明けが待ち遠しいこのごろです。

沖縄や九州では、大雨による災害が深刻となっています。本町でも、かつて同様の災害を受けており、他人事ではありません。自然の厳しさは痛感しますが、それ以上に自然が与えてくれる恵みはかけがえのないものであり、感謝の気持ちを忘れてはならないと感じます。

議会広報委員会 高宮一明